修学旅行新聞

発行所　財団法人
全国修学旅行研究協会
発行人　白滝末紀
東京都千代田区西神田
2丁目8－7（幅ビル）
電話（262）2426・2932
振替（東京）36337

万国博年次の修旅専用電車

現行通り運転

国鉄　運行期間延長も

昭和四十五年、大阪で開かれる日本万国博への輸送問題は各運輸機関で対策をねっているが、国鉄では同年の修学旅行専用電車の運行を確保し、現行基準通りに運転するむねを明らかにした。これによって各学校の万国博開催年の修学旅行計画は不安なく樹てられるわけだ。さらに修学旅行としての万国博見学にも運輸上の支障がないよう万全の策をたてたいといっており、昭和四十五年の修学旅行団体輸送は円滑に行なわれるとみられ、見通しはいたって明るい。

学校側とも話合う

日本万国博開催の準備が進むに従い、四十五年の国鉄輸送は万国博一本にしぼられ、修学旅行専用電車が圧迫されるのではないかとの学校現場の不安にたいして国鉄では専用電車はそのまま存続させ、修学旅行の持つ教育的意義が失われぬようにし、万国博ダイヤは別途に組んで不動の輸送体制を整えたいといっている。

修学旅行に取り入れる万国博見学の輸送については国鉄本社旅客局で諸資料を中心に検討を続けているが、現在のところはっきりした数字をつかみ得ないのが実情のようで、国鉄としては学校現場の意向を早く知ったうえ、意見の交換を十分に行ない、適切な計画を樹てたいとしている。

また、学校側の要望があれば修学旅行専用電車を十一月以降も引続いて運行することも考慮したいといっている。

国鉄旅客局営業課長　万国博開催に当っ補佐上田定男氏の話　ても修学旅行専用電車は現行通り走らせたいし、教育的見地からも当然そうあるべきだろう。また、修学旅行に万国博見学を取り入れる場合の輸送は、万国博事務局で推定した入場者三千万人を根拠にして分析するが、いずれにしても学校側とよく話し合って最善の策をたてたい。

上田定男氏

修学旅行は学習を社会に移したもので、生活指導及び集団訓練の好機会であり、教育計画の一環として行なう学校教育上極めて重要な行事である。

従って修学旅行を安全かつ有効に実施するための企画及び運営を科学的に調査研究して、常にその改善に努力しつつ教育効果の充実向上を図る事は必要であり教育界に課せられた義務でもある。（財団法人・全国修学旅行研究協会の趣意書から）

三泊四日で割当て

明年度・近畿の専用電車

【大阪発】近畿中学校修学旅行委員会事務局（大阪市東区大川町淀屋橋南詰近鉄不動産ビル内）では四十四年度修旅専用電車（わかば号、きぼう号）の輸送計画をたてるため大阪、京都、兵庫、奈良、滋賀、和歌山六府県の各中学校長からの乗車申込みを整理検討中である。

万博の見学校調査

本年度の関修委　当番制で研究会も

関東地区中学校修学旅行委員会（本宮源一会長）の第三十一回運営委員会（高橋儀六委員長）は四月二十五日午前十時半から東京・新宿区の都教育会館で開催、本宮会長と全修協山本種一理事長代理として白滝事務局長のあいさつのあと議事に入り①四十四年度「わかくさ号」利用の各県調整は五月中に行ない国鉄へ提出する②四十五年の万国博見学修学旅行の「わかくさ号」利用は宿泊と輸送確保のため四十四年度の編成と平行して計画をすすめることをそれぞれ決定した。これについて各県で万博見学希望校と人員を五月二十五日までにまとめる。③本年度の同会の行事としては上記の万博見学希望調査のほかに各県当番制で研究発表会や集会などを開くことになり具体案は五月二十九日の第三十二回運営委で決めることになった。

見学個所が多い

三重　集合時刻にも難点

【三重発】三重県修学旅行研究会（会長・小林敦夫県教育長）では県下三四八小学校の修学旅行について実態調査を行なった。それによると目的地は京都、奈良、大阪方面が大部分で、神戸や名古屋へ行く学校も多くなっている。県教委の基準による一泊二日をそのまま実施しているのは二五三校、二泊三日が九〇校、三泊四日が五校もあった。

問題点としては午前四時、五時という集合時刻の学校が一六校、午後七時以降の解散が三六校もあったことだ。

一日の見学個所数の調べでは第一日目の最高が七か所で六一校、六か所五八校、最低は一か所で四校、また、第二日目の最高は六か所で七一校、五か所が七〇校、最低は一か所一校。〝一日に一か所ぐらいはゆっくり見学させたい〟と反省している学校が相当あった。

準備進む研修旅行

殺倒する参加申込み

○…全国の教職員やその家族の人気を集めている全修協企画、本年夏の研修旅行は、募集開始以来各都道府県とも申し込みが殺倒、早くも満員のコースが出るのではないかと、全修協本部では嬉しい悲鳴をあげている。

ことしは十三コースを精選（地区、県によっては少ないところもある）したが、いずれも研修にふさわしい行事が盛られており、教育的な意義も深い。

○…教職員研修旅行の既参加者が集まって親睦団体を結成する動きが活発となり、すでに山形では「教育旅行研究会」、沖縄コース参加者による「さいはての会」など独自の活動を行なっているが、東京でも四月二十日午後一時から千代田区の科学技術館に有志が参集し発起人会を開き、結成式をあげることを申し合わせた。

○…ことしの研修旅行のため全修協事務局ではすでに四月一日から実施本部を置き準備をすすめている。実施を担当する近畿日本ツーリスト本社も全修協と呼応し、運輸、旅館などの手配に大わわ。

○…会員用のワッペンもできあがった。記念用としてもふさわく各コースとも美しいものばかり。

できあがったきれいなワッペン

近く具体案作成

都道府県教育長協議会　修学旅行の改善へ

都道府県教育長協議会（野尻高経幹事長）の第一部会（学校教育・主査＝田村群馬県教育長）は四月二十五日群馬県水上町で十一都道府県の教育長が集まって開催、さきに同部会が行なった全国の修学旅行の実態調査を整理し、六月に開かれる総会に提出後、さらに具体案を作ることになった。

同部会で決めた修学旅行の改善方向としては①修学旅行の性格や目的を明確にする②従来のかけ足旅行や強行スケジュールをやめる③大集団の行動を学級別、グループ別などに分ける、などがあげられている。

米代10円値上げ

今秋から本郷の旅館で

東京・文京区の本郷旅館組合ではことしの秋から修学旅行団体の米代を十円値上げして二食分（三合）を九十円と改めることになり各学校やあっ旋業者あてに通知した。値上げの理由として組合は「昨秋の消費者米価の高騰で現行料金では維持ができなくなった」といっている。

第一陣が出発

八万人運ぶこまどり号

【名古屋発】東海三県（愛知、岐阜、三重）の修旅専用電車「こまどり号」の第一陣は四月十五日の朝、名古屋駅から東京方面へ出発した。名古屋市の名張中、桔梗ケ丘中、矢生中、多気郡の篠山中桑名市の明正中など五校九百五十人。「こまどり号」は七月一日まで三百二十三校、約八万人をのせて関東へ向う。

万博の入場料内定

修旅の小中学生は二百円

日本万国博の入場料が内定した。一般券に三段階、さらに前売り、団体、学校行事、身障者などの割引措置もとられるが、修学旅行を含む学校行事は高校生三百五十円、中・小学生二百円。これは当日売りとなっている。この料金は各方面の要望もあり改訂の動きもある。なお団体出札口で人数点検、料金計算などで相当の混雑も予想されるので事前の連絡方法についてはあらためて研究することになった。

本年度の研究指定

〝学校行事等〟に八校

文部省では四十三年度の中学校教育課程研究指定校二十校を決めた。これらの指定校は昨年度に引き続いて指定をうけたもので、このうち「学校行事等」の指定校はつぎのとおり。

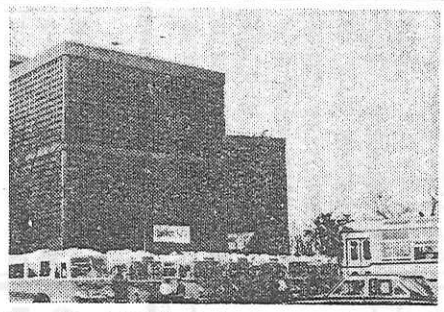
▽山形・東根中▽千葉・茂原中▽東京・雑司谷中▽長野・福島中▽静岡・雄踏中▽和歌山・保田中▽広島・五日市中▽長崎・吾妻中▽大分・竹田中。

〝〝〝〝〝〝修旅は花ざかり

科学技術館に八万人

修学旅行の最盛期を迎えた東京都内は、皇居前、国会議事堂、浅草、東京タワーなど全国からやってきた中高校生でいっぱい、どこでもお国なまりが入りみだれて大にぎわいだ。皇居前の駐車場は色とりどりの大型バスがずらりとならび、一般観光団をふくめて一日百台から百五十台が入り込むという。「生徒たちはよく規律を守り紙屑など捨てるものはありません」とは厚生省皇居外苑管理事務所のはなし。

ほとんど整備された千代田区北の丸公園に聳える科学技術館はすっかり修学旅行とおなじみになり、四月中に四千二百校、約八万人の児童生徒が入場した。【写真は修旅生でにぎわう科学技術館】



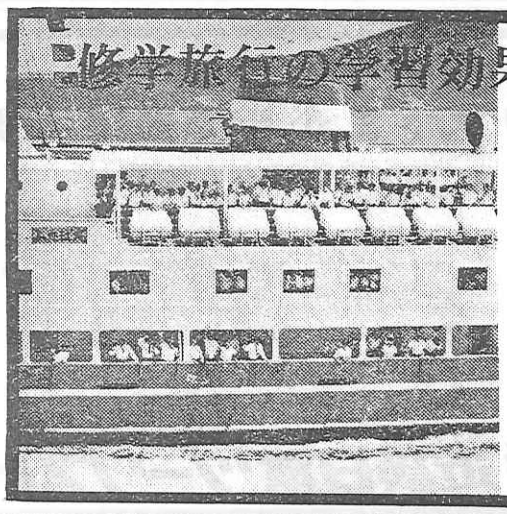
風紋

宮崎の友人から、このたびの異動で椎葉村の中学校へ転任したというしらせがあった。

「山また山のふところ耳川の流れの音の中に、蛙の鳴く声を耳にしながら、へき地教育の重責をひとしお痛感しております」ほどの夜空の星を眺め、井の中の蛙にならないよう、駄馬にむちうち……」とかいてある▼一ページほどの夜空ということばは、谷川にそうて点在する民家や、空へそりたつ両岸の山のみどり、ところどころで岩をかむ白い流れなど谷あいの山村の風景を連想させてきわめて印象的だ▼四囲の山々に区切られた空は、一枠の天窓でしかなく、息苦しささえ覚えるであろう。晴天の日といえども、一ページの青空から太陽の逃げ足は早く、そこへ集中豪雨などに見舞われたら、どうなることであろうか。こんな山肌にしがみつき、孤立的な小集団で生きてきた人々は、くらしに痛めつけられて、美しい自然とは似てもつかない、暗くせま苦しい人間性をもっていることがあり、低い文化性とともに、そこの教育の場はなかなかきびしいものがある▼この職場で「……きょう一日の教育の営みに精進をつづけています」と筆者の友人は近況をしらせてきたが、こういうへき地の学校は小学校六千校、中学校は二千二百五十校もあり、これに準ずる学校を加えると一万二、三千校に達するというが、ここで黙々と努力をつづける先生たちは立派だと思う▼一ページの空といえば、山峡にあるばかりではない。大都会のビルの谷間にもある。ここの孤独感と閉鎖性はまた大きい教育の障害である。こういうところの先生と生徒たちが、修学旅行や夏の旅に出て、日本のひろい空と美しい自然や進んだ文化を味わい、ものを考えることは、はかり知れない大きい意味があることだと思った。

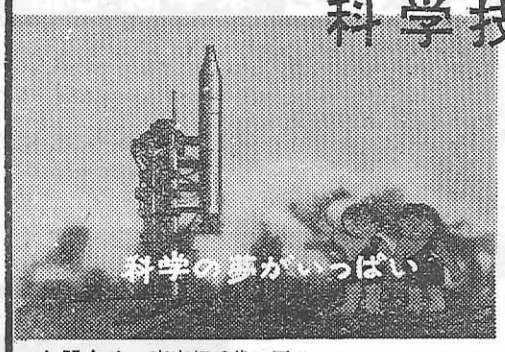
全修協だより

▼大阪事務所の電話は五月十一日から（202）六五〇〇（直通）に変更。▼大西八郎氏（広島県支部長、同県議）全国都道府県議会議長会主催の欧米地方行政視察のため四月十三日から約一カ月間、九カ国十八市を訪問。



全船冷暖房完備の修学旅行専用船
わかば丸・ふたば丸
旅客定員805名・1,100トン
●一般客との混乗がありません
●船内での学習や研究ができます
●海・船の社会科研究もできます
楽しい有意義な瀬戸内海の修学旅行を！
関西汽船
●お問合せは…大阪（441）9161
ほか関西汽船各地営業所・各旅行斡旋案内所

100万人の修学旅行コース　☆　★　★　★
科学技術館



修学旅行の教育的意義を高めるためにも、ぜひ科学技術館をコースにおいれください。
●冷暖房・団体休憩室（400名）・食堂（300名）完備
●無料大駐車場（大型バス50台）
お問合せ…東京都千代田区北の丸公園　科学技術館業務部　TEL東京(03)212－8471（代表）
★地下鉄（東西線）：竹橋下車　★日本武道館となり

修旅生運んで100万人

専用船わかば丸・ふたば丸

歓呼にわく港

百万人目の幸運　冠美妃さん（泉南高）に

教育界の要望にこたえて修学旅行専用船わかば丸が関西汽船の手で誕生したのは去る三十七年三月、この三月二十七日には第二船ふたば丸とともに修旅生を運んで遂に百万人を突破した。

この日、晴れわたった大阪港関西汽船弁天埠頭に浮かぶ晴れのわかば丸には「修学旅行専用船百万人乗船記念航海」と書かれた幕が張られ、うれしそうに百万人目の乗船生徒を待っているかのよう。埠頭にはこの日乗船する大阪の泉南高校、同四条畷高校、奈良の東大寺高校の生徒六百六十八名が集合、そのなかに近畿地区高校修旅専用船運営協議会の堀江駒太郎会長をはじめ委員参与など約二十名、専用船生みの親ともいうべき全修協の山本種一理事長の顔も見える。

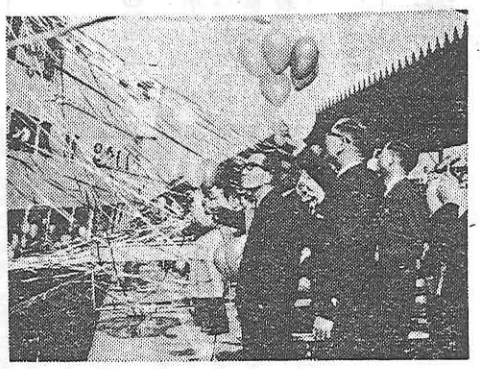
午後二時、乗船がはじまった。生徒たちは列をつくってタラップへ登る。カチ、カチ、カチと係員の持つ集計器が鳴る。〝九十九万九千九百九十八、九…。百万〟幸運の百万人目は泉南高校二年生の冠美妃さんにもが該当者と決まった。甲板から、埠頭からいっせいに喚声と拍手が湧きあがる。煙を真赤に染めた冠さんの頸にわかば丸の梨和事務長がはえあるカーネーションのレイがかけられた。

続いて砂田船長から記念品がおくられたあと、冠さんはわかば丸に乗り込んだ。

三時二十分、いよいよ出帆。ドラの音とともに打ちあげ花火や風船が青空に舞う。万歳の声と五色のテープの飛びかうなかを、六百数十名の若い夢をのせたわかば丸は九州へと旅立っていった。

わかば丸出帆後、同埠頭の関汽支店で祝賀会が開かれた。関汽青木総務部長は百万人突破について感謝の言葉をのべ、また近畿地区高校修旅専用船運営協議会堀江駒太郎会長は「修旅専用船がりっぱに育ったことは感無量だ。今後も修学旅行生のため、あたたかい配慮を願いたい」とあいさつ、さらに全修協山本種一理事長は「百万人を、しかも全くの無事故で輸送できたことはうれしい。これからも安全運航と海洋思想普及のため一致協力して運営したい」と述べた。最後に堀江会長の発声で専用船の万歳を三唱して閉会した。

なお、百万人突破を記念して関西汽船では当日乗船の三校へわかば丸の写真入り大型鏡と乗船生徒全員にそれぞれ記念品をおくった。



写真㊤わかば丸梨和事務長からレイを受ける冠さん。㊦出帆を祝う人々（中央は全修協の山本理事長）

わが身は神の国に

ヨーロッパ紀行　⑤　岡本　仁

〝路傍のキリスト像〟

オーストリアのチロル高原からアルプスをブレンネル峠で越えて北イタリアに入るあたりの田舎道で、眼についたのであるが、二尺ほどの柱に、はりつけにされた胸に血をふくキリストの像をつけた十字架が、道の端にたっていたことである。決して、それは一つではなく、所々にみかけるので、私は日本流に解釈して、旅の安全を祈る道師神か、村の子供たちの幸福を祈る地蔵さんのようなものだろう―と、思ったのである。しかし、日本の地蔵さんとは違ってはりつけられ、血を流しているキリストの像は闘争的であり、悲劇的で、宗教のもつ神秘性がなく、現実的でありすぎる感じがした。東洋が瞑想的であるのも、こうしたちょっとした路傍の宗教的表示物にもうかがえて面白かった。

〝見逃した血の史蹟〟

ローマに行ったら、コロッセウムとサンピエトロ大寺院とカタコンベの三つはぜひみたいと思っていた。それは、小学生が京都にいったら、智恩院と金閣寺と三十三間堂をみたいと思うのに似ているであろう。

ローマは三泊三日であったが、一日はナポリ、ポンペイ見学に費やしたので、正味は一日半しかなく、見るところが余りにも多く、遂にカタコンベを見学する機会を失なった。観光コースとしては、重要視されていないことを知ってヨーロッパにおいてすら、宗教的な遺跡は、世人の関心から後退していることを知った。

カタコンベはキリスト教にとって、迫害と血の史跡である。ローマ帝政の二―三世紀のころ、地下の墓洞に、キリスト教徒たちはのがれ、禁圧されたキリスト教の礼拝をつづけた陰惨な聖地なのである。きくところによると、地下に四層―五層に迷路の拡がりをもち延長二五㌔に及ぶものもあるという。

墓室を壁画で飾るのは古代の習慣であるが、カタコンベの壁や天井に描かれた「祈る人」や「羊飼牧者」などに、霊的なものを感覚的、可視的にとらえて表現する宗教芸術をみることができるのである。

二度とあるまい渡欧の機会に、カタコンベを見のがしたことを残念に思う。あらかじめハッキリした見学の計画をもっていくことが短かい旅行であればあるだけ、その必要性は大であろう。

〝大聖堂と五彩の光〟

ローマ帝国で、キリスト教迫害の歴史が終り、三一三年にキリスト教は公認され、やがて、ローマ帝国も滅亡し、民族大移動がはじまり、中世封建社会の幕があくと共に、キリスト教全盛の時代となり、〝新しい光〟〝神の国〟―がゴシック建築とステンド・グラスの大聖堂で具現されたのである。人びとの燃えあがる信仰の心は、天上の世界をあこがれ、より高い塔を築き、林立する石柱にかこまれた空間は、窓にはめられたステンド・グラスを透きとおし、烈しい五彩の光によって、憧憬する神の国の神秘なふんい気をつくりだしたのである。

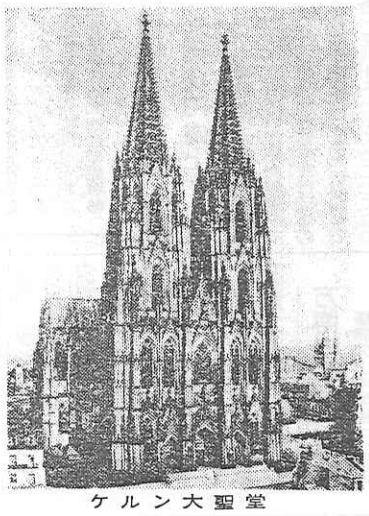
私がケルンの大聖堂をみたのは夕陽が沈む直前の時刻であり、ケルン駅を出た瞬間に突然、その神秘な外観をあらわしたのであった。それはちょうど、東海道線を旅していて、車窓に、突如として雄大な富士山の雄姿があらわれたのに似ていた。富士山は車窓はるかといえるが、ケルンの大聖堂は首を強く後に倒さないと塔頭が視野に入らない程、間近かであってその驚きは一層大であった。私自身、神の国を見た中世人の心になって、しばし身動きもせず立ちつくしたのである。

ケルン駅前の大聖堂、京都駅前の東本願寺。信仰と交通の関係において、世界的に共通なものを感じ、はるかに背後をみると、ライン河にかかるホーヘンツオレルン橋が美くしかった。

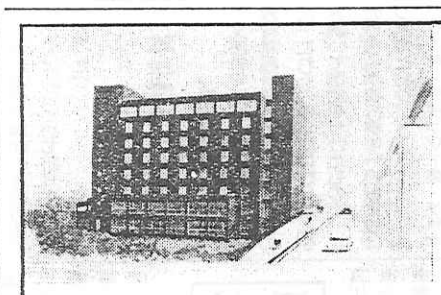
今度の旅で、ゴシック建築の美くしいものとしては、ミラノのドウモオ、フイレンツェの花の聖母寺、パリのノートルダム寺院などをみることが出来た。ケルンでは時刻がおそくて、中に入ることが出来なかったが、ミラノとパリでは十分に内部も拝観することが出来た。林立する高い柱で囲まれた空間に立ち、五彩の色に映える巨大な壁画のステンド・グラスが神秘な光となって、頭上に降りそそぐとき、大聖堂の中は神の国となるのであろう―と、想像することは容易であった。ミラノのドウモオの中に立っているとき、行きかう人々はまことに小さく、かつ敬けんな姿にみえてくる。所々の祭壇の前では、ミサが行なわれている。異国人であり、かつ宗教に無縁な一旅人が、じっと立っていても、それなりに全体の空気の中に消化されてしまって、永遠の時の流れに浮かび、静かに流されていく気持で、安らぎする覚えるのであった。

私は、ミラノでは買いそこねたが、ケルン、フイレンツェ、パリでは大聖堂の模型の壁物を土産に買い、この原稿を書くときも、机の上に並べて、当時をしのびつつ筆をとったのである。（つづく）

＝全修協常務理事・兵庫県支部長・尼崎産業高校長＝



ケルン大聖堂



昭和44年1月オープン

●〈ホテル〉東京コマ旅行会館は東京タワー・国会議事堂を間近に望む中心地にあり、地上8階建の近代ビルディングで、修学旅行の皆様により有意義なご旅行をしていただくために清潔で低廉に、しかも最新の設備をほどこした全館和室の観光旅館であります。

TOKYO－KOMA－RYOKO－KAIKAN
ホテル〈全館和室〉
豪華で最新の設備

只今ご予約受付中！

東京都港区六本木1丁目7番地
TEL(03) 585－1046(代表)

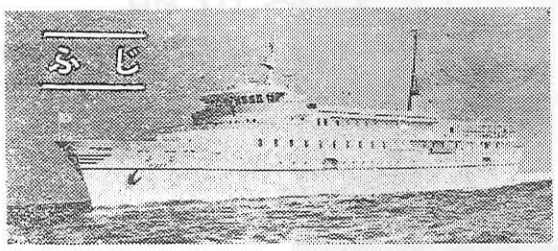
東京 コマ旅行会館

共同石油株式会社　特約店
アジア石油株式会社　特約店
ホール・イン・ワン・オイル製造販売

株式会社 ワンビシ産業
取締役代表　樋口　捲三

本社　東京都中央区日本橋通り2―3（山本山ビル）
電話（271）7441（代表）
営業所　大阪・名古屋・清水・山形・仙台・東京

修学旅行は 日本最大の 豪華観光船で



みなさまのスケジュールで全国各地へご案内します。

■すぐれた船内設備
■動く海の教室
■安全性がたかい

大島運輸

東京支店　中央区日本橋通1―6（茂野ビル）
電話東京（273）8911

修学旅行のことなら
ツーリストまかせで安心です

修学旅行専門のスタッフをそろえて、学習効果のあがる、安全な旅行の研究を重ねている近畿日本ツーリスト…修学旅行の事前指導、コースづくり、乗りもの・お泊まりの予約手配、旅行中のおせわなど、めんどうなことはなんでもおひきうけします。お近くのひまわり窓口を、お気軽にご利用ください。

● 週末旅行に 便利でおトクな周遊券

電子計算機がおてつだいする　ひまわり窓口
近畿日本ツーリスト